

第1回航空機関連プロジェクト事後評価検討会

議 事 要 旨

1. 日 時 平成27年3月26日(木) 14:00～17:00

2. 場 所 経済産業省本館9階西8共用会議室

3. 出席者

(検討会委員) [敬称略・五十音順、※は座長]

岩田 拓也	産業技術総合研究所主任研究員
岡部 朋永	東北大学大学院航空宇宙工学専攻教授
奥田 章順	三菱総合研究所参与・チーフコンサルタント
山田 圭一	株式会社ANA総合研究所 航空・産業政策グループ主席研究員

※李家 賢一 東京大学大学院工学系研究科教授

(研究開発実施者)

谷内 雄作	株式会社 IHI 航空宇宙事業本部技術開発センター 制御技術部 電子技術グループ 主査
桐山 勉	日本無線株式会社ソリューション技術部 レーダシステムグループ 課長
高山 雅人	三菱重工業株式会社 交通輸送ドメイン民間機事業 部 技術部 中小型機課 主任
小見 淳介	株式会社 IHI 航空宇宙事業本部技術開発センター エンジン技術部プロジェクトグループ 主査
小島 裕登	一般財団法人 素形材センター 次世代材料技術室 航空機材料技術部 主幹研究員
磯江 暁	一般財団法人 素形材センター 次世代材料技術室 航空機材料技術部 部長
河野 充	一般財団法人 日本航空機開発協会 第一企画室 将来機グループ 主事
木元 健一	株式会社 IHI 航空宇宙事業本部 宇宙開発事業推進 部機器技術グループ 主幹
岩嶋 淳	川崎重工業株式会社 航空宇宙カンパニー 技術本 部第二装備技術部 アビオ装備三課 基幹職

(事務局)

製造産業局航空機武器宇宙産業課

課長補佐 吉瀬 周作

係長 楠田 真之

(評価推進課)

産業技術環境局技術評価室

技術評価専門職員 江間 祥三

4. 配布資料

資料 1	評価検討会委員名簿
資料 2	研究開発評価に係る委員会等の公開について
資料 3	経済産業省における研究開発評価について
資料 4	評価方法 (案)
資料 5	航空機関連プロジェクトの概要一覧
資料 5-1-1	航空機用先進システム基盤技術開発 (航空機用再生型燃料電池システム) の概要
資料 5-1-2	航空機用先進システム基盤技術開発 (デジタル通信システム) の概要
資料 5-1-3	航空機用先進システム基盤技術開発 (先進パイロットシステム (機体・システム統合化)) の概要
資料 5-1-4	環境適応型航空機用エンジン研究開発の概要
資料 5-2-1	次世代構造部材創製・加工技術開発 (複合材健全性診断技術開発) の概要
資料 5-2-2	次世代構造部材創製・加工技術開発 (チタン合金構造部材創製・加工技術開発) の概要
資料 5-3-1	超高速輸送機実用化開発調査の概要
資料 5-3-2	超高速輸送機実用化開発調査 (革新的推進システム) の概要
資料 5-3-3	航空機用先進システム基盤技術開発 (電源安定化システム) の概要
資料 6	航空機関連プロジェクトの評価用資料一覧
資料 6-1-1	航空機用先進システム基盤技術開発 (航空機用再生型燃料電池システム) の評価用資料
資料 6-1-2	航空機用先進システム基盤技術開発 (デジタル通信システム) の評価用資料
資料 6-1-3	航空機用先進システム基盤技術開発 (先進パイロットシス

	テム（機体・システム統合化）の評価用資料
資料 6－1－4	環境適応型小型航空機用エンジン研究開発の評価用資料
資料 6－2－1	次世代構造部材創製・加工技術開発（複合材健全性診断技術開発）の評価用資料
資料 6－2－2	次世代構造部材創製・加工技術開発（チタン合金構造部材創製・加工技術開発）の評価用資料
資料 6－3－1	超高速輸送機実用化開発調査の評価用資料
資料 6－3－2	超高速輸送機実用化開発調査（革新的推進システム）の評価用資料
資料 6－3－3	航空機用先進システム基盤技術開発（電源安定化システム）の評価用資料
資料 7	評価報告書の構成（案）
資料 8	評価コメント票
質問票	
参考資料 1	経済産業省技術評価指針
参考資料 2	経済産業省技術評価指針に基づく標準的評価項目・評価基準
参考資料 3	平成 24 年度中間評価報告書（概要版）

5. 議事概要

（1）座長選出

李家委員が本検討会の座長に選出された。

（2）評価検討会の公開について

事務局から、資料 2 により、評価検討会の公開について説明がなされた後、本評価検討会について、会議、配付資料、議事録及び議事要旨を公開とすることが了承された。

（3）評価の方法等について

事務局から、資料 3、4、7、8 により、評価の方法等について説明がなされ、了承された。

（4）研究開発プロジェクトの概要について

事務局及び実施者から、資料 5－1－1 から 5－3－3 により、航空機関連プロジェクトの概要について説明がなされた。

主な質疑等は以下のとおり。

○航空機用再生型燃料電池システム

- ・燃料電池システムの認証取得の見通しについて質問があり、将来的な航空

機における水素の使用に向けて検討を進めているところとの回答があった。

○デジタル通信システム

- ・通信方式の規格化の見通しについて質問があり、欧州の動向を伺いながら進めているところとの回答があった。

○先進パイロット支援システム（機体・システム統合化）

- ・実用化に向けた取組をスピードアップすべきとのコメントがあった。

○環境適応型小型航空機用エンジン研究開発

- ・エンジンの要素技術の進捗について質問があり、実用化に向けて取り組んでいるとの回答があった。

○複合材構造健全性診断技術開発

- ・型式証明取得の進め方について、海外メーカーと協力して検討を進めるべきとのコメントがあった。

○次世代チタン合金構造部材創製・加工技術開発

- ・性能が良い材料を作れば、航空機用に採用されるということではないので、具体的な搭載部位と求められる性能を想定して研究開発を進めるべきとのコメントがあった。

○超高速輸送機実用化開発調査

- ・超高速輸送機のニーズについて質問があり、エアラインが定期運行する場合を想定してニーズ調査を実施したとの回答があった。

○電源安定化システム

- ・知財保護の必要性についてのコメントがあった。

（５）今後の予定について

評価コメント票の提出期限を平成２７年４月９日とすることを確認した。また、第２回評価検討会を平成２７年５月下旬の開催を目途に後日日程調整することとした。

以上